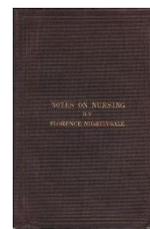


看護の価値を探求 看護の本質を捉え価値を語れる看護師の育成



看護の価値探求ワーキングが中心となり全ラダー対象に研修会を企画
講師に山梨県立大学看護学部 渡辺教授をお迎えして

目標

- 5つの基本敵事項とナイチンゲールの理論を関連付けて学習し、患者のニーズを捉えた看護実践への土台作りをする
- ナラティブアプローチを通して、看護の気づきや価値を言語化できる



研修会日程と参加者：87名（ワーキング含）

- 6月5日 ナイチンゲール抄読会：師長・副師長・リンクナース
- 6月18日 事例検討会：師長・副師長・リンクナース
- 6月24日 事例検討会：師長・副師長・リンクナース



抄読会では、ナイチンゲール看護論に立ち返り、「病気とは回復過程である」ことを再認識しました。

理論を活用することで対象理解が深まり、ケアに確かな意味づけができることを参加者一同が実感しました。今後は、各部署のカンファレンスに看護理論を取り入れ、より根拠のあるケアを実践できる看護師の育成を目指します。

本研修は大学の先生と共同で企画した取り組みであり、今年度の看護局目標「患者の反応から看護の価値に気づくことができる」に直結する重要な一歩となりました。

看護の価値探求ワーキング

